

特集

須恵町教育施策要綱

教育目標実現のために24年度に取り組む主な事業

オアシス運動の普及啓発



オアシス通りロゴマーク

小中学校での学力向上を組織的に図ります。



学力向上

「感動する心の教育」
「感謝する心の教育」
「共感する心の教育」
を目指して

道徳教育の推進



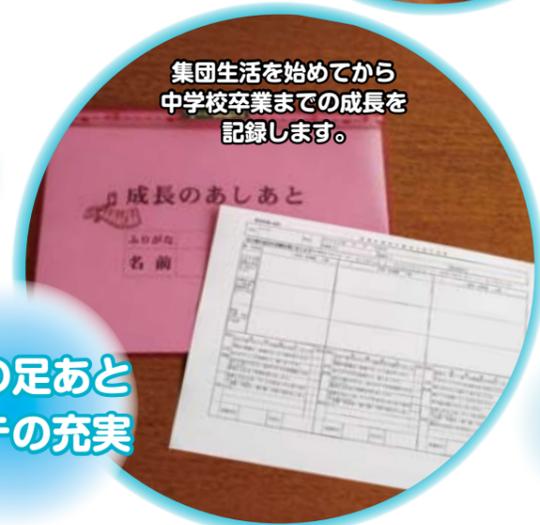
第三小学校
道徳参観の様子

生活規範指導員 制度の充実



あいさつや掃除のしかたを指導します。

成長の足あと カルテの充実



集団生活を始めてから
中学校卒業までの成長を
記録します。

町長報告



中嶋 裕史 町長

昨年3月11日に発生した東日本大震災をはじめとして、平成7年の阪神淡路大震災、福岡県西方沖地震、平成21年の中国・九州北部豪雨災害などの発生により、最近住民の災害に対する関心や防災意識が高まり、行政としても「安全・安心のまちづくり」が重要な課題となっています。

須恵町では、以前から「自主防災活動」に強い関心を示されていた佐谷区を、今年度、自主防災組織設立のモデル地区に指定し、福岡県消防防災指導課の協力を得て、自主防災組織の結成を支援していく予定です。

この自主防災組織設立促進モデル事業を第一歩として、将来的にはこの組織が、ほかの地区にも拡大していくことを期待しています。

現在、多くの行政区において組合加入率の低下の問題が大きな課題となっています。地域社会におけるつながりが希薄となりつつある中で、災害時に助け合う共助の精神に基づく「自主防災活動」をコミュニティ維持・隣組復活のチャンスと捉えて、自主防災組織が構築されていく中で、組合加入促進の一助となればと考えています。

また、一人暮らしの高齢者や障がい者などの災害時弱者に対して支援を行うために進めている「災害時要援護者避難支援対策」とあわせて、今後も災害に強いまちづくり、安全・安心なまちづくりに邁進する所存です。

自主防災組織の結成に向けて

教育行政報告

平成23年度の教育活動では、小中学校の生活規範指導の定着が大きな成果となりました。

特に須恵中学校の生活環境は大きく改善し、教育施策として掲げている「感動する心の教育」「感謝する心の教育」「共感する心の教育」が小中学校職員にも浸透し人権道徳教育が着実に進んでいることを裏付けるものと思います。

須恵町の教育行政の特長である児童福祉を包含した教育支援体制や生活規範指導員制度、成長の足あとカルテ等は全国に類を見ないシステムであり、学校自己評価報告会、オアシス運動等とあわせて有識者から好評価をいただいています。

平成24年度は須恵町教育振興基本計画実施4年目に入ります。「感動する心の教育」「感謝する心の教育」「共感する心の教育」を更に充実させ

生活規範指導が定着

人権道徳教育の柱として取り組んでいきたいと思えます。

学力向上については、本町で組織する学力向上検証委員会に対して福岡教育事務所からの支援を受け、更なる充実を図る予定です。

社会教育においては、教育委員会として生涯学習を推進するとともに、地域に貢献する生涯教育の理念に基づき、社会教育基盤の充実に努めます。



平松 秀一 教育長